



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場会社名 エン・ジャパン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4849 URL http://corp.en-japan.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 孝二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 長谷川 正恒 (TEL) 03 (3342) 4506  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,205	23.0	1,738	7.5	1,921	5.1	1,177	△49.2
26年3月期第2四半期	7,486	16.3	1,616	—	1,826	—	2,317	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,032百万円(△21.3%) 26年3月期第2四半期 1,312百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	52.51	—
26年3月期第2四半期	104.43	—

- (注) 1. 26年3月期第2四半期については、会計方針の変更による遡及適用後の数値であります。そのため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
 3. 当社は平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割いたしました。このため、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算出してあります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,960	17,801	80.5
26年3月期	22,733	17,135	74.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,670百万円 26年3月期 17,010百万円

(注) 26年3月期については、会計方針の変更による遡及適用後の数値であります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	24.50	24.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	28.50	28.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	14.6	3,950	14.8	3,970	5.9	2,240	△19.7	99.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したNew Era India Consultancy Pvt. Ltd.を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	24,858,000株	26年3月期	24,858,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,355,700株	26年3月期	2,450,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	22,430,654株	26年3月期2Q	22,191,800株

(注) 平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしました。期末発行済株式総数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)につきましては、株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属する人材ビジネス市場は、平成26年9月の有効求人倍率が1.09倍となる等、良好な環境が続いております。

このような状況の中、当社は求人広告において「[en]社会人の転職情報」の全面リニューアルを実施いたしました。2014年8月18日から、新たに「エン転職」としてサービスを開始し、更なるユーザーの利便性向上と商品力の強化に努めてまいりました。

また、人材紹介においては子会社のエンワールド・ジャパン及び当社の「エン エージェント」の両人材紹介サービスを強化してまいりました。

海外展開では、グループ全体の事業運営を推進するため、2014年7月にタイの子会社「The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.」を「en world Recruitment (Thailand) Co Ltd.」へ社名変更いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,205百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は1,738百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益は1,921百万円（前年同期比5.1%増）となりました。四半期純利益は前年同期に投資有価証券の売却益を1,998百万円計上したこと等から、前年同期比49.2%減の1,177百万円となりました。

セグメント別の業績（売上高には内部売上高を含む）は以下の通りです。

#### ① 採用事業

採用事業には求人サイトの運営、人材紹介、海外子会社等が属しております。

（求人サイト）

主力の「エン転職」において新規顧客への販売を強化したこと等から前年同期比の掲載件数が増加しました。その他のサイト全般につきましても堅調に販売が進んだことから、全サイトで前年同期を上回る売上高となりました。

（人材紹介）

グローバル企業の旺盛な採用ニーズを受けて、子会社のエンワールド・ジャパンが好調な結果となりました。また、前期から開始したエン・ジャパンの人材紹介サービス「エン エージェント」は四半期毎の入社人数及び売上高が着実に増加いたしました。

（海外子会社）

当期はベトナムの子会社及びタイの子会社の業績が期初から連結業績に加わっているため、海外における前年同期比の売上高が大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,914百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は1,760百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

#### ② 教育・評価事業

教育・評価事業には定額制研修サービスの実施、採用・人事関連システムの提供等が属しております。

（定額制研修サービス）

「エンカレッジ」は平成26年5月にリニューアルを実施し、新規顧客への販売を強化したこと等から、前年を上回る契約社数及び売上高となりました。

（採用・人事関連システム）

子会社のシーベースにおいてリピート受注が進んだこと等から、前年同期を上回る売上高となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は317百万円（前年同期比17.0%増）となりました。利益面では業容拡大に伴う人員増により、人件費が増加したこと等から22百万円の営業損失（前年同期は44百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ773百万円減少し、21,960百万円となりました。

このうち流動資産は、2,363百万円減少し、13,450百万円となりました。これは、未払法人税等の納付等により現金及び預金が2,474百万円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は、1,590百万円増加し、8,510百万円となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等によりの前払金が400百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ1,438百万円減少し、4,159百万円となりました。

このうち流動負債は、1,484百万円減少し、3,694百万円となりました。これは、未払法人税等が1,325百万円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は、45百万円増加し、464百万円となりました。これは、資産除去債務が26百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ665百万円増加し、17,801百万円となりました。これは、当四半期純利益の計上による増加1,177百万円と、剰余金の配当による減少578百万円の結果、利益剰余金が599百万円増加したこと等によるものであります。

### キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べて2,474百万円減少し、10,694百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、142百万円のマイナス（前年同期は1,096百万円のプラス）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,905百万円を計上した一方、法人税等の支払額1,919百万円があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,777百万円のマイナス（前年同期は64百万円のマイナス）となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出596百万円、無形固定資産の取得による支出557百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、596百万円のマイナス（前年同期は478百万円のマイナス）となりました。これは、配当金の支払額577百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年5月12日公表値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したNew Era Consultancy Pvt. Ltd. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を負債に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度末の固定負債が51,066千円増加し、利益剰余金及び自己株式が、それぞれ、51,295千円、228千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,169,219	9,694,590
受取手形及び売掛金	1,832,513	2,015,272
有価証券	1,000,000	1,000,000
その他	826,022	761,232
貸倒引当金	△14,247	△21,015
流動資産合計	15,813,507	13,450,079
固定資産		
有形固定資産	451,556	563,732
無形固定資産		
のれん	3,328,770	3,729,246
その他	1,450,976	1,778,006
無形固定資産合計	4,779,746	5,507,252
投資その他の資産		
投資有価証券	463,257	592,922
関係会社株式	327,106	505,024
その他	901,848	1,345,228
貸倒引当金	△3,268	△3,851
投資その他の資産合計	1,688,944	2,439,324
固定資産合計	6,920,247	8,510,309
資産合計	22,733,755	21,960,389
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,039	48,449
未払法人税等	1,890,233	564,438
賞与引当金	593,920	646,079
その他の引当金	196,692	139,134
その他	2,433,217	2,296,358
流動負債合計	5,179,103	3,694,461
固定負債		
長期借入金	3,198	17,113
株式給付引当金	151,915	151,275
資産除去債務	75,957	102,407
長期未払金	51,066	77,382
リース債務	14,033	4,677
繰延税金負債	122,669	111,706
固定負債合計	418,841	464,562
負債合計	5,597,944	4,159,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,194,993	1,194,993
資本剰余金	1,661,558	1,718,709
利益剰余金	17,391,831	17,991,210
自己株式	△3,437,958	△3,284,414
株主資本合計	16,810,424	17,620,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,480	1,611
為替換算調整勘定	187,122	48,198
その他の包括利益累計額合計	199,602	49,810
少数株主持分	125,782	131,056
純資産合計	17,135,810	17,801,365
負債純資産合計	22,733,755	21,960,389



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,486,470	9,205,434
売上原価	866,665	926,600
売上総利益	6,619,805	8,278,833
販売費及び一般管理費	5,003,401	6,540,599
営業利益	1,616,404	1,738,234
営業外収益		
受取利息	1,467	10,281
受取配当金	37,500	187
持分法による投資利益	45,270	60,682
投資事業組合運用益	-	12,680
投資有価証券評価益	-	6,720
為替差益	130,200	83,767
雑収入	4,758	14,672
営業外収益合計	219,196	188,992
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,764	-
雑損失	3,858	6,177
営業外費用合計	8,623	6,177
経常利益	1,826,977	1,921,048
特別利益		
投資有価証券売却益	1,998,097	7,199
特別利益合計	1,998,097	7,199
特別損失		
固定資産除却損	197	22,254
特別損失合計	197	22,254
税金等調整前四半期純利益	3,824,877	1,905,993
法人税、住民税及び事業税	1,581,644	594,162
法人税等調整額	△67,325	128,485
法人税等合計	1,514,319	722,648
少数株主損益調整前四半期純利益	2,310,557	1,183,345
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6,972	5,571
四半期純利益	2,317,530	1,177,774

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,310,557	1,183,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,036,931	△10,868
為替換算調整勘定	609	△139,177
持分法適用会社に対する持分相当額	38,483	△504
その他の包括利益合計	△997,838	△150,551
四半期包括利益	1,312,718	1,032,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,319,691	1,027,981
少数株主に係る四半期包括利益	△6,972	4,811

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,824,877	1,905,993
減価償却費	231,753	232,113
のれん償却額	97,819	168,402
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,246	7,351
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,580	52,411
その他の引当金の増減額(△は減少)	△25,399	△57,542
受取利息及び受取配当金	△38,967	△10,468
為替差損益(△は益)	△130,200	△83,767
持分法による投資損益(△は益)	△45,270	△60,682
投資事業組合運用損益(△は益)	4,764	△12,680
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,998,097	△7,199
投資有価証券評価損益(△は益)	-	△6,720
固定資産除却損	197	22,254
売上債権の増減額(△は増加)	△167,839	△94,590
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,334	△18,843
未払金の増減額(△は減少)	△83,104	△437,442
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,497	△75,603
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△36,755	223,121
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△153,574	△15,322
その他の固定負債の増減額(△は減少)	56,519	△31,701
小計	1,522,225	1,699,082
利息及び配当金の受取額	79,617	77,945
法人税等の支払額	△505,390	△1,919,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,096,452	△142,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△62,088	△121,289
無形固定資産の取得による支出	△369,123	△557,460
投資有価証券の取得による支出	△22,450	△100,800
投資有価証券の売却による収入	2,396,334	24,700
関係会社株式の取得による支出	-	△19,500
子会社株式の取得による支出	-	△159,102
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,933,255	△596,092
敷金及び保証金の差入による支出	△84,530	△187,404
敷金及び保証金の回収による収入	12,986	681
保険積立金の積立による支出	△6,456	△6,456
保険積立金の解約による収入	-	5,919
貸付けによる支出	-	△190,000
貸付金の回収による収入	3,851	129,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,732	△1,777,089

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△1,871
配当金の支払額	△456,575	△577,337
リース債務の返済による支出	△22,094	△17,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△478,669	△596,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	141,030	41,994
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	694,081	△2,474,628
現金及び現金同等物の期首残高	10,349,167	13,169,219
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	156,478	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,199,727	10,694,590

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	採用事業	教育・評価事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,230,482	255,987	7,486,470	—	7,486,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,175	15,298	22,474	△22,474	—
計	7,237,658	271,286	7,508,944	△22,474	7,486,470
セグメント利益	1,572,188	44,215	1,616,404	—	1,616,404

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	採用事業	教育・評価事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,907,764	297,669	9,205,434	—	9,205,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,073	19,676	26,749	△26,749	—
計	8,914,837	317,345	9,232,183	△26,749	9,205,434
セグメント利益	1,760,420	△22,486	1,737,934	300	1,738,234

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、New Era India Consultancy Pvt. Ltd.の株式を取得したため、「採用事業」セグメントののれん金額に、重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は533,626千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成27年3月末をもって、新卒採用事業における求人サイトの運営を終了し、ビジネスモデルを転換することといたしました。このため、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを「採用事業」と「教育・評価事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。